

## 目次

I. 子ども虐待防止とオレンジリボン .....	2
II. 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー事業の概要 .....	5
III. 第13回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー2019 実施報告 .....	7
1. 全コース図 .....	7
2. ランナーの職種と人数 .....	8
3. 各区のたすきリレーの行程と人数 .....	9
4. グランモール公園でのブース・イベント .....	10
IV. 写真でつづる、子どもの明るい未来を願う思い .....	12

## I. 子ども虐待防止とオレンジリボン

「児童虐待防止法」が施行された 2000 年以降、児童虐待防止に向けた様々な取組みが行政レベルや民間レベルで活発化しているが、増え続ける虐待ケースの前に、児童相談所や児童福祉施設は支援が現状に追いつかない状況が続いている。児童相談所の扱う虐待対応件数は、1990 年に統計を取り始めてから、一度も前年度を下回ったことはなく、2018 (H30) 年度には 159,850 件となった。

(図 1)。増加の背景には、児童虐待事件が絶えず報道され一般市民からの通報が増えたり、子ども虐待に対する積極的な介入によりケースが掘り起こされたりという側面もあるが、地域で支える力や子育て家庭の養育機能の低下等の問題から実際の虐待件数も増加している可能性を指摘する声も大きい。ただ、近年の増加の背景には、子どもの面前 DV が心理的虐待に当たることから、DV で家庭に介入して子どもがいるケースについて警察からの通報が増えたことがあり、児童虐待 4 種別の中でも心理的虐待がこの 4 年間第 1 位となっている。子ども虐待によって死亡した子どものについては、2017 (H29) 年度は 65 名の子どもが尊い命を失ったことが確認されている (表 1)。例年よりも下回っているが、本来なら子どもを守るべき保護者からの虐待によって子どもの命が奪われている事実があること自体胸が痛むことである。また何らかの理由により保護者と暮らせない社会的養護のもとにいる子どもは約 4 万 5 千人いる (表 2)。

児童虐待の対応は、早期に発見し、適切な支援につなげることが必要であるが、何よりも重要なことは虐待の発生を予防すること、虐待の起こらない地域社会の創造である。そのためには地域社会がこの問題に目を背けず、関心を持っていただけるような啓発活動が重要となる。2004 年から 11 月を「児童虐待防止推進月間」として国は定め、民官問わず啓発や防止活動を積極的に行うよう呼び掛けるようになったのもこうした背景からである。

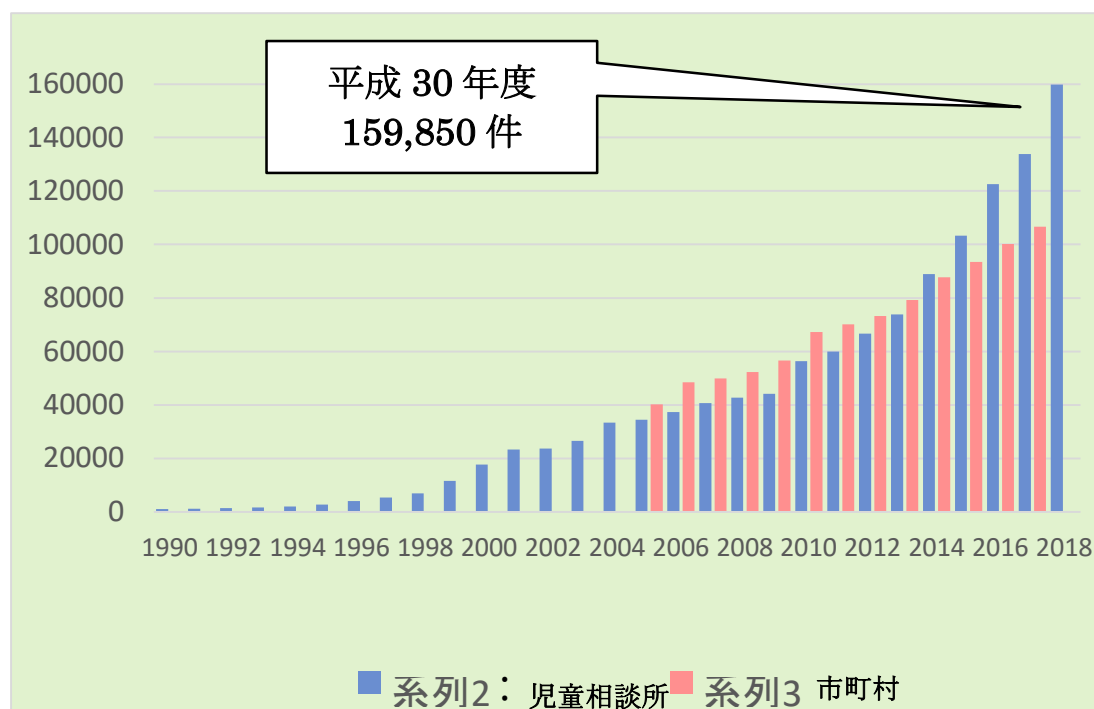


図 1. 児童相談所と市町村における児童虐待対応件数の推移

表 1. 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について  
(社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会)

	第 14 次報告(2016 年 4 月 1 日～ 2017 年 3 月末日)			第 15 次報告(2017 年 4 月 1 日～ 2018 年 3 月末日)		
	心中以外 の 虐待死	心中によ る 虐待死	計	心中以外 の 虐待死	心中によ る 虐待死	計
事例 数	49(18)	18(2)	67(20)	50(23)	8(0)	58(23)
人数	49(18)	28(3)	77(21)	52(23)	13(0)	65(23)

表 2. 社会的養護の現状について

### 社会的養護の現状: 里親数、施設数、児童数等

保護者のない児童、被虐待児など家庭環境上養護を必要とする児童などに対し、公的な責任として、社会的に養護を行う。対象児童は、約 4 万 5 千人。

里親		登録里親数	委託里親数	委託児童数	ファミリーホーム	
家庭における養育を里親に委託		11,730世帯	4,245世帯	5,424人	養育者の住居において家庭養護を行う(定員5～6名)	
区分 (里親は 重複登録 有り)	養育里親	9,592世帯	3,326世帯	4,134人	ホーム数	347か所
	専門里親	702世帯	198世帯	221人		
	養子縁組里親	3,781世帯	298世帯	289人		
	親族里親	560世帯	543世帯	770人	委託児童数	1,434人

施設	乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	母子生活支援施設	自立援助ホーム
対象児童	乳児(特に必要な場合は、幼児を含む)	保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童(特に必要な場合は、乳児を含む)	家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童	養育教育を終了した児童であって、児童養護施設等を退所した児童等
施設数	140か所	605か所	46か所	58か所	227か所	154か所
定員	3,900人	32,253人	1,892人	3,637人	4,648世帯	1,012人
現員	2,706人	25,282人	1,280人	1,309人	3,789世帯 児童6,346人	573人
職員総数	4,921人	17,883人	1,309人	1,838人	1,994人	687人

小規模グループケア	1,620か所
地域小規模児童養護施設	391か所

※里親数、F Hホーム数、委託児童数、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、母子生活支援施設の施設数、定員、現員は福祉行政報告例(平成30年3月末現在)  
 ※児童自立支援施設、自立援助ホームの施設数、定員、現員、小規模グループケア、地域小規模児童養護施設のか所数は家庭福祉課調べ(平成29年10月1日現在)  
 ※職員数(自立援助ホームを除く)は、社会福祉施設等調査報告(平成29年10月1日現在)  
 ※自立援助ホームの職員数は家庭福祉課調べ(平成29年3月1日現在)  
 ※児童自立支援施設は、国立2施設を含む

子ども虐待防止に向けた活動の中の一つに「オレンジリボンキャンペーン」がある。これは、2004年に栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末亡くなる事件が起き、その事件をきっかけに子ども虐待防止を目指した小山市の「カンガルーOYAMA」が、2005年に一市民団体の活動として始めた

ものである。その後、NPO 法人「里親子支援のアン基金プロジェクト」協力のもと継続され、さらに、先述の「児童虐待防止全国ネットワーク」が賛同し厚生労働省との協働により全国的な活動を展開、2006 年の啓発ポスターにはオレンジリボンが明記されるに至っている。その他、オレンジリボンキャンペーン活動として、各地域で講演会やチャリティーコンサートを行ったり、手作りのオレンジリボンを配布する活動を行ったりなど、様々に展開している。このオレンジという色は、里子たちが選んだ色であるとのことで、子ども虐待のない社会を祈って選ばれたのだろう。

オレンジリボン活動が幅広く行われているが、これらは子ども虐待のない社会を目指して行われているのである。

## Ⅱ. 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー事業の概要

「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」事業は、子ども虐待防止啓発活動を目的に、オレンジ色のたすきをリレーでつなぐ活動を実施する事業である。

子ども虐待防止は、多くの機関・分野の方々の協働と、市民の方々の理解と協力が不可欠である。子ども虐待防止の象徴であるオレンジリボンをつなぐに仕立て、これをリレーすることにより、子ども虐待防止への市民の関心を高めることと、機関・分野協働の大切さを訴えるものである。また、毎年、たすきリレーのゴール会場となる会場や、他中継所では、子ども虐待防止をアピールするちらしや手作りのオレンジリボンを配布するなど啓発キャンペーン活動を行う。

本事業は平成19年に立ちあがり、11月23日～24日の2日間かけて、第1回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーを開催した。また、11月24日には、横浜市のみなとみらい地区の日本丸メモリアルパーク、読売新聞本社前におけるキャンペーン活動を行った。

続いて、平成20年11月9日（日）には第2回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーを開催した。湘南コース、都心コースに分かれ、グランモール公園（横浜市）にゴールし、ゴール会場では啓発活動も行った。

第3回は、平成21年11月8日（日）に開催し、前回に続き湘南・都心コースに分かれ実施した。同日開催であった湘南国際マラソンとたすきリレーの湘南1区はコースを重ね、そして日本丸メモリアルパークにゴールした。第3回はゴール会場だけでなく東京タワーにおいても啓発活動を行い、少しずつ活動が広がってきていることを実感した回であった。

第4回は、横浜においてAPEC開催時期と重なったことから、11月ではなく平成22年10月31日（日）に開催し、湘南・都心コースに分かれてオレンジのたすきをつないだ。都心コースは渋谷ハチ公からスタートし、ハチ公銅像にオレンジたすきをかけて啓発活動を行った。また、横浜市中区にある山下公園がゴール会場となり、会場ではステージやブースを設けて啓発活動を行い、一般の観光客にも子ども虐待防止の大切さを訴えた。APECを避けて10月に行ったのだが、11月からの推進月間の呼びかけの柿<sup>こけら</sup>落とし的イベントとして有益である実感を得、全国でたすきリレーを実施していただく起点となる意味でも、10月下旬の開催が好ましいと判断し、以降10月下旬の開催が恒例となった。

第5回は、平成23年10月30日（日）に開催し、第3のコースとして新たに鎌倉・三浦コースが設立された。鎌倉高德院よりスタートし、鶴岡八幡宮や関東学院大学などを中継し、ゴールを目指した。湘南コース・都心コース・鎌倉三浦コースを合わせた総ランナー数は343名となり、多くの方がオレンジのたすきをつないだ。

第6回は、平成24年10月28日（日）に開催した。湘南／都心／鎌倉・三浦・横須賀コースの3コースを総勢479名のランナーがたすきをつないだ。ゴール会場はみなとみらい地区の赤レンガ倉庫近くの新港中央広場に設け、1日かけて啓発キャンペーンも行った。

第7回は、平成25年10月27日（日）に開催した。前年度と同じく湘南／都心／鎌倉・三浦・横須賀コースの3コースを総勢510名のランナーがたすきをつないだ。ゴール会場の山下公園では、子どもや家族も楽しめるブースを設営するなど過去最大のブース数となった。

第8回は、平成26年10月26日（日）に開催した。参加したランナー数は前年並みの、506名が走った。天候もよく、ゴール会場は過去最大の人たちが訪れ、にぎわった。また実行委員の一人である井上幸夫さんが、全国にたすきリレーの実施を呼びかけるため、この日から日本縦断の1万キロランのスタートを切った。

第9回は、平成27年10月25日（日）に開催した。この年のランナーは699名と前年度を大幅に上回った。前年度、日本縦断の1万キロランのスタートをきった井上さんが無事横浜に戻られ、たすきリレーランナーとともにゴールテープを切った。

第10回は、平成28年10月30日（日）に開催した。第10回という節目を迎え、メモリアルイベントとなった。たすきリレーでは川崎コースを新設し、総勢616名のランナーがたすきをつないだ他、ゴール会場の山下公園では家族向けのブースも多数設置され、多くの一般市民が訪れた。また、東日本大震災復興支援として多くの方のメッセージを募ってきた「祈りのFriendshipキルト・オレンジのたすき」を鎌倉高德院へ奉納した。さらに、全国13ヶ所に拡がっていた各地の実行委員会に声をかけ、賛同を得て、「オレンジリボンたすきリレー全国ネットワーク」として連携組織を立ち上げた。

第11回は、平成29年11月12日（日）に開催した。記念の10回大会を終え、新たなスタートを切る事となった。例年同様、全5箇所のスタート地点から横浜市の山下公園をゴールとする3つのコース（都心・川崎コース、湘南コース、鎌倉・三浦・横須賀コース）で構成された。総勢639名のランナーが参加した。はじめて虐待防止推進月間である11月に開催したこともあってか、NHK初め多くメディアが取材に訪れました。

第12回は、平成30年11月11日（日）に開催した。山下公園をゴールとし、延べ701名のランナーが参加した。年々ランナー参加者が増加し、しかも児童福祉関係でない方の参加が増えている。児童虐待への市民の関心が高まっていることを感じている。

本事業の実行委員会は、子どもの虹情報研修センターが事務局となり、委員会は児童福祉施設、児童相談所、社会福祉協議会など有志のメンバーで構成されている。

### Ⅲ. 第13回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー2019 実施報告

#### 1. 全コース図



## 2. ランナーの職種と人数

※複数区を走行したランナーはそれぞれ1名としてカウントしました

職種	都心	川崎	湘南	鎌三横	合計
児童福祉施設	47	54	39	19	159
児童相談所	70	28	6	9	113
里親・ファミリーホーム	0	0	2	0	2
児童家庭支援センター	3	0	0	3	6
福祉一般	30	3	6	55	94
教育	2	1	15	11	29
行政	34	5	8	51	98
医療	0	0	0	1	1
企業	8	1	8	26	43
学生	0	0	0	2	2
その他	2	0	45	24	71
合計	196	92	129	201	<b>618</b>

都心・川崎コース



湘南コース



鎌倉・三浦・横須賀コース





### 3. 各区のたすきリレーの行程と人数

#### (1) 都心コース(全ランナー数 288 人)

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	東京タワー	9:00		
1 区(4.6km)	東京タワー	9:20	恵比寿景丘公園	34 人
2 区(5.3km)	恵比寿景丘公園	10:15	品川児童相談所	29 人
3 区(4.3km)	品川児童相談所	11:15	大田区立大森スポーツセンター	29 人
4 区(7.2km)	大田区立大森スポーツセンター	11:55	ユースキン製薬(株)	27 人
5 区(3.0km)	ユースキン製薬(株)	13:00	鶴見区役所	32 人
6 区(4.8km)	鶴見区役所	13:30	セブンイレブン横浜浦島町店	22 人
7 区(5.0km)	セブンイレブン横浜浦島町店	14:15	グランモール公園 15:20 着	23 人

#### 川崎コース

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	白山愛児園	8:20		
K.1 区(7.5km)	白山愛児園	8:40	川崎愛児園	11 人
K.2 区(6.5km)	川崎愛児園	9:50	川崎市社会福祉協議会	15 人
K.3 区(2.0km)	川崎市社会福祉協議会	10:50	新日本学園	8 人
K.4 区(3.9km)	新日本学園	11:15	川崎市こども家庭センター	15 人
K.5 区(1.0km)	川崎市こども家庭センター	11:55	しゃんぐりらベビーホーム	12 人
K.6 区(5.0km)	しゃんぐりらベビーホーム	12:15	ユースキン製薬(株)	13 人

#### 川崎多摩コース

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	至誠館さくら乳児院	8:35		
KT.1 区(7.2km)	至誠館さくら乳児院	8:50	川崎市子ども夢パーク	10 人
K.T2 区(5.2km)	川崎市子ども夢パーク	10:00	川崎市社協	8 人

#### (2) 湘南コース(全ランナー数 129 人)

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	心泉学園	8:30		
1 区(5.7km)	心泉学園	8:50	エリザベスサンダースホーム	34 人
2 区(4.8km)	エリザベスサンダースホーム	9:40	平塚市役所	15 人
3 区(7.2km)	平塚市役所	10:20	茅ヶ崎高校	27 人
4 区(7.3km)	茅ヶ崎高校	11:10	遊行寺	13 人
5 区(5.0km)	遊行寺	12:05	西横浜国際総合病院	8 人
6 区(11.0km)	西横浜国際総合病院	12:40	横浜市港南中央地域ケアプラザ	11 人
7 区(8.3km)	横浜市港南中央地域ケアプラザ	14:15	グランモール公園 15:20 着	21 人

#### (3) 鎌倉・三浦・横須賀コース(全ランナー数 201 人)

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	高德院(鎌倉大仏)	8:00		
1 区(3.6km)	高德院(鎌倉大仏)	8:20	鶴岡八幡宮	27 人
2 区(5.0km)	鶴岡八幡宮	8:50	逗子市役所	19 人
3 区(4.0km)	逗子市役所	9:30	森戸神社	17 人
4 区(11.5km)	森戸神社	10:05	横須賀中央駅前広場	18 人
5 区(7.2km)	横須賀中央駅前広場	11:30	サンビーチ追浜	10 人
6 区(4.2km)	サンビーチ追浜	12:30	セブンイレブン横浜片吹店	6 人
7 区(7.5km)	セブンイレブン横浜片吹店	13:05	磯子センター	8 人
8 区(4.1km)	磯子センター	14:10	横浜市中心児童相談所	33 人
9 区(3.8km)	横浜市中心児童相談所	14:45	グランモール公園 15:20 着	35 人

#### 三浦コース

行 程	スタート地点	時 間	ゴール地点	人数
出発セレモニー	マホロバマインズ三浦	9:00		
M.1 区(8.5km)	マホロバマインズ三浦	9:25	京急久里浜駅前商店街	14 人
M.2 区(7.5km)	京急久里浜駅前商店街	10:30	横須賀中央駅前広場	14 人

#### 4. グランモール公園でのブース・イベント

ネリマックス!

##### ☆イベントのタイムスケジュール

時間	内容
11:00	オープニング!
	ランナー音声継
12:20	栗ちゃんと仲間たちのパフォーマンス
13:30	ネリマックス ショー
	ランナー音声継
15:30	ゴールセレモニー!!!



栗ちゃんと仲間たち



横浜市キャッピー



かながわキンタロウ



かంగル-OYAMA



NPO CROP.-MINORI



神奈川県保険医協会



ユースキン製薬(株)



横浜市子ども青少年局



横浜市民生委員児童委員協議会



こどもみらい横浜



NPO てんぼ



(公財)資生堂社会福祉事業財団



神奈川県



本部

## ☆ブースの内容と主催者

ブース内容	提 供	ブース内容	提 供
スマートボールと輪投げで遊ぼう	横浜市子ども青少年局	子ども虐待防止啓発	神奈川県保険医協会
みんなで工作しよう	横浜市民生委員児童委員協議会 横浜市主任児童委員連絡会	子ども虐待防止 神奈川キャンペーン	神奈川県
バルーンアートを楽しもう！！	NPO 子どもセンターてんぽ	子どもの未来のために ～クリスマスランタンをつくろう！～	(公財)資生堂社会福祉事業財団 全国児童家庭支援センター協議会
くじ引き	こどもみらい横浜 (横浜里親会)	オレンジリボンをあなたの胸に ～オレンジオブジェの制作～	NPO カンガルーOYAMA
懐かしの子どもの遊び ～ドルフィンセラピーの紹介～	NPO CROP. -MINORI	オレンジリボンたすきリレー 子ども虐待の現状と対応	本 部 オレンジリボンたすきリレー実行委員会
ハンドケア講習	ユースキン製薬(株)		



# IV. 写真でつづる、子どもの明るい未来を願う思い

## 1. 都心コース

①スタート地点（東京タワー）



②いよいよスタート！



③第2区（景丘公園）



④たすきをつなぎます（1区⇒2区）



⑤品川見相



⑥信号休憩



⑦大森スポーツセンター



⑧ユースキンで川崎コースと合流！



⑨鶴見区役所



⑩第6区走行中



⑫ゴール

⑪セブンイレブン浦島町店（第7区）

## 2. 川崎コース（川崎K・川崎多摩KTコース）

2019.10.14 JR 登戸駅事前キャンペーン 川崎コースオープニングセレモニー 多摩コースオープニングセレモニー



川崎コース出発（白山愛児園）



KT1 区（藤子不二雄ミュージアム前）KT2 区中継所（川崎市子ども夢パーク）



K2 区走行



K2 区と KT2 区が合流（川崎市社協）



K3 区スタート



K4 区走行



K5 区（鹿島田駅前）



鹿島田駅前啓発キャンペーン



K6 区じゃんぐりら BH 出発



K6 区鹿島田駅前応援の子ども達



ユースキン製薬・野渡社長から完走賞授与



### 3. 湘南コース



1区 心泉学園



2区 エリザバスサンダースホーム

1区 国道1号 二宮

2区 国道1号 大磯



3区 平塚市役所



4区 茅ヶ崎高校



4区 茅ヶ崎高校



4区 辻堂 テラスモール湘南



5区 藤沢 遊行寺



5区 国道一号 戸塚



6区 西横浜国際総合病院



6区 港南区日限山

7区 港南中央ケアプラザ



7区 鎌倉街道 吉野町

## 4. 鎌倉・三浦・横須賀コース

鎌倉高徳院スタートセレモニーでの来賓の皆様



松尾鎌倉市長を先頭に段葛から八幡宮中継所到着



2区ランナー張り切って出発 逗子市役所職員バンド



三浦1区ランナーの勇壮



桐ヶ谷逗子市長ごあいさつ



森戸神社4区最長11.5km



三浦久里浜商店街中継所



横須賀中央駅前広場 32名のランナー勢ぞろい 三浦2区の元気ランナー ホンキートンクさん演奏ありがとう



追浜駅前中継所 Yフェスタ追浜のコスプレダンサーと



磯子センター 総勢33名の8区ランナー



セブンイレブン到着 中央見相の盛り上がり



最終区スタート



パパジョグの会編成した近藤ママ



## 謝辞

まず、たすきを身につけて走っていただいたランナーの皆様に感謝申し上げます。

次の方々には財政面での支援をしていただきました（敬称略）。（公財）資生堂社会福祉事業財団、神奈川県生命保険協会、ユースキン製菓（株）、サッポロホールディングス（株）、ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）、神奈川県保険医協会、（株）テサテープ、（株）シーケン、（株）伊藤園、湘南ヤクルト販売（株）、川崎リパティライオンズクラブ、その他の団体。心より感謝申し上げます。

次にあげさせていただく後援の機関、団体の方々からは、大きなご支援をいただきました（敬称略）。厚生労働省、東京都、神奈川県、神奈川県警察、横浜市、川崎市、大田区、品川区、渋谷区、港区、鎌倉市、逗子市、茅ヶ崎市、平塚市、藤沢市、三浦市、横須賀市、大磯町、二宮町、葉山町、栃木県小山市、全国児童相談所長会、神奈川県教育委員会、東京都社会福祉協議会児童部会、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県児童福祉施設協議会、神奈川県母子生活支援施設協議会、神奈川県保険医協会、川崎市社会福祉協議会、（株）資生堂、鎌倉高德院、（一社）横浜ファミリーホーム連絡協議会、川崎市あゆみの会、その他の団体。大変ありがとうございました。

スタートや中継所、ランナーのサポート等にご協力をいただきました（敬称略）。TOKYO タワー、渋谷区景丘公園、品川児童相談所、大田区立大森スポーツセンター、ユースキン製菓（株）、鶴見区役所、セブンイレブン横浜浦島町店、白山愛児園、川崎愛児園、川崎市社会福祉協議会、新日本学園、川崎市こども家庭センター、しゃんぐりらベビーホーム、至誠館さくら乳児院、川崎市子ども夢パーク、心泉学園、エリザベスサンダースホーム、平塚市役所、茅ヶ崎高校、遊行寺、西横浜国際総合病院、横浜市港南中央地域ケアプラザ、高德院（鎌倉大仏）、鶴岡八幡宮、逗子市役所、森戸神社、横須賀中央駅前広場、サンビーチ追浜、セブンイレブン横浜片吹店、磯子センター、横浜市中央児童相談所、マホロバマイズ三浦、京急久里浜駅前商店街、グランモール公園、心から感謝申し上げます。

さらに次にあげさせていただく方々には、ゴール会場や中継地点で啓発活動にご協力いただきました。神奈川県、横浜市こども青少年局、子どもの虹情報研修センター、横浜市民生委員児童委員協議会、横浜市主任児童委員連絡会、（公財）資生堂社会福祉事業財団、全国児童家庭支援センター協議会、ユースキン製菓（株）、カンガルーOYAMA、おおいそ学園、（一社）こどもみらい横浜（里親会）、（特非）CROP-MINORI、（特非）子どもセンターてんぼ、神奈川県保険医協会、高田馬場・ジェットロボット、ネリマックスとその仲間たち、栗原さんをはじめとするパントマイマーの皆様、坂本博之さん、（特非）全国福祉未来ネットワーク、株式会社東京タワー、鎌倉市役所、横須賀市役所、平塚市役所、鎌倉高德院、鎌倉女子大学、鎌倉女子大学短期大学部、関東学院大学、横浜保育福祉専門学校、（株）北野書店、かしまだ駅前通商店街、有志ボランティアの方、心より感謝申し上げます。